

平成30年度 滝沢市商工会経営発達支援計画事業評価

評価基準 A：目標を達成することができた（100%以上）、B：目標を概ね達成することができた（80%～99%）、C：目標を半分程度しか達成することができなかった（30%～79%）、D：目標をほとんど達成することができなかった（30%未満）

経営発達支援事業の目標							実施した事業	委員会 評価
1. 地域の経済動向調査に関すること【指針③】 (目標)							<ul style="list-style-type: none"> ・地域経済動向調査（4回） 地域経済動向調査を文献、市場動向、観光動向のデータ収集、分析、レポートとして年4回作成。 ・WEB商店街の効果（4回） WEB商店街の効果について、岩手県立大学生対象にアンケート調査を1回、事業所毎のグループインタビューを3回（3件）実施し需要動向調査と抱き合わせでレポートとして作成。 ・金融動向の収集（4回） 6月・11月開催の経営改善資金協議会に参加するとともに6月・10月に公庫との金融懇談会を開催し、円滑な融資斡旋につながった。 ・建設業等の情報収集（2回） H30年度分、市の小規模修繕発注状況を取りまとめた。また、建設業協会滝沢市への陳情項目として地元業者発注について需要動向と抱き合わせでとりまとめた。 	A
項目	現状	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
地域経済動向の収集・分析	0回	4回	4回	4回	4回	4回		
WEB商店街の効果分析	0回	4回	4回	4回	4回	4回		
金融動向の収集・分析	0回	2回	2回	2回	2回	2回		
建設業等の情報収集・分析	0回	2回	2回	2回	2回	2回		
2. 経営状況の分析に関すること【指針①】 (目標)							<ul style="list-style-type: none"> ・巡回指導件数：348件 ・調査票の完成、ニーズ分析件数：100件 ・市との共同巡回件数：10件 11/19～11/20実施 ・経営分析件数：125件 	A
項目	現状	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
巡回指導件数	0件	150件	150件	150件	150件	150件		
調査票の完成、ニーズ分析	0件	100件	100件	100件	100件	100件		
市との共同巡回件数	0件	10件	10件	10件	10件	10件		
経営分析件数	33件	80件	80件	80件	80件	80件		

経営発達支援事業の目標							実施した事業	委員会 評価
3. 事業計画策定支援に関すること【指針②】 (目標)							<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画策定件数：14件 ・補助金活用事業計画策定件数：39件 (持続化補助金11、もの補助5件、マル経23) ・経営革新計画策定件数：2件 ・創業・事業承継計画策定件数：21件 (創業12、事業承継9) ・なないろ通信の発行件数：12件 	B
項 目	現状	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
(1)事業計画策定件数	0件	31件	31件	31件	31件	31件		
(2)各種補助金活用事業計画策定件数	29件	35件	35件	35件	35件	35件		
(3)経営革新計画策定件数	2件	6件	6件	6件	6件	6件		
(4)創業・事業承継計画策定件数	2件	8件	8件	8件	8件	8件		
(5)なないろ通信の発行件数	12件	12件以上	12件以上	12件以上	12件以上	12件以上		
4. 事業計画策定後の実施支援に関すること【指針②】 (目標)							<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画策定フォロー件数：290件 ・補助金活用事業計画策定フォロー件数：155件 ・経営革新計画認定及びフォロー件数：31件 ・創業・事業承継計画及びフォロー件数：85件 	A
項 目	現状	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
事業計画策定フォロー件数	0件	124件	124件	124件	124件	124件		
各種補助金活用事業計画策定フォロー件数	29件	140件	140件	140件	140件	140件		
経営革新計画認定及びフォロー件数	2件	24件	24件	24件	24件	24件		
創業・事業承継計画及びフォロー件数	2件	48件	48件	48件	48件	48件		

経営発達支援事業の目標							実施した事業	委員会 評価																												
5. 需要動向調査に関すること【指針③】 (目標) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>現状</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> <th>32年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>WEB 商店街効果による需要動向の調査・分析</td> <td>0回</td> <td>4回</td> <td>4回</td> <td>4回</td> <td>4回</td> <td>4回</td> </tr> <tr> <td>特産品需要動向の調査・分析</td> <td>0回</td> <td>4回</td> <td>4回</td> <td>4回</td> <td>4回</td> <td>4回</td> </tr> <tr> <td>建設業等の情報収集・分析</td> <td>0回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> </tr> </tbody> </table>							項 目	現状	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	WEB 商店街効果による需要動向の調査・分析	0回	4回	4回	4回	4回	4回	特産品需要動向の調査・分析	0回	4回	4回	4回	4回	4回	建設業等の情報収集・分析	0回	2回	2回	2回	2回	2回	<ul style="list-style-type: none"> ・WEB 商店街効果による需要動向調査 (4回) WEB 商店街の効果について、岩手県立大学生対象にアンケート調査を1回、事業所毎のグループインタビューを3回(3件)実施し経済動向調査と抱き合わせでレポートとして作成。 ・特産品需要動向調査(4回) ①チャグまるしえ滝沢年間販売動向調査。 ②個社支援として3回(3件)の需要動向を県立大学と連携研究。 ・建設業等の情報収集(2回) H30年度分、市の小規模修繕発注状況を取りまとめた。また、建設業協会で滝沢市への陳情項目として地元業者発注について経済動向と抱き合わせでとりまとめた。 	A
項 目	現状	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度																														
WEB 商店街効果による需要動向の調査・分析	0回	4回	4回	4回	4回	4回																														
特産品需要動向の調査・分析	0回	4回	4回	4回	4回	4回																														
建設業等の情報収集・分析	0回	2回	2回	2回	2回	2回																														
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること【指針④】 (目標) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>現状</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> <th>32年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>WEB サイトアクセス件数</td> <td>973件</td> <td>10,000件</td> <td>20,000件</td> <td>30,000件</td> <td>50,000件</td> <td>50,000件</td> </tr> <tr> <td>展示会、商談会開催回数</td> <td>2回</td> <td>3回</td> <td>3回</td> <td>5回</td> <td>6回</td> <td>6回</td> </tr> <tr> <td>展示会、商談会出店者数</td> <td>10店</td> <td>15店</td> <td>15店</td> <td>15店</td> <td>15店</td> <td>15店</td> </tr> </tbody> </table>							項 目	現状	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	WEB サイトアクセス件数	973件	10,000件	20,000件	30,000件	50,000件	50,000件	展示会、商談会開催回数	2回	3回	3回	5回	6回	6回	展示会、商談会出店者数	10店	15店	15店	15店	15店	15店	<ul style="list-style-type: none"> ・WEB サイトアクセス件数：11,360 ・展示会、商談会開催回数：5回 岩手県産商談会2、商工会総会、商工会まつり、名刺交換会 (参加型展示販売会：8回) ・展示会、商談会出店者数：24者 (参加型展示販売会：23者) ・個社支援として「ちゃぐ〜る」掲載事業所10社の YouTube アップ及びアクセス解析事業を実施 	C
項 目	現状	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度																														
WEB サイトアクセス件数	973件	10,000件	20,000件	30,000件	50,000件	50,000件																														
展示会、商談会開催回数	2回	3回	3回	5回	6回	6回																														
展示会、商談会出店者数	10店	15店	15店	15店	15店	15店																														

経営発達支援事業の目標							実施した事業	委員会 評価																																										
7. 地域経済の活性化に資する取組 (目標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>現状</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> <th>32年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>異業種交流会開催</td> <td>0件</td> <td>1件</td> <td>2件</td> <td>2件</td> <td>2件</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>フォーラムの開催件数</td> <td>0件</td> <td>1件</td> <td>2件</td> <td>2件</td> <td>2件</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>企業見学参加者数</td> <td>0名</td> <td>30名</td> <td>50名</td> <td>50名</td> <td>50名</td> <td>50名</td> </tr> <tr> <td>特産品開発品目（試作品）</td> <td>0件</td> <td>3件</td> <td>3件</td> <td>3件</td> <td>4件</td> <td>4件</td> </tr> <tr> <td>総オタ計画イベントの開催</td> <td>0回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> </tr> </tbody> </table>							項目	現状	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	異業種交流会開催	0件	1件	2件	2件	2件	2件	フォーラムの開催件数	0件	1件	2件	2件	2件	2件	企業見学参加者数	0名	30名	50名	50名	50名	50名	特産品開発品目（試作品）	0件	3件	3件	3件	4件	4件	総オタ計画イベントの開催	0回	1回	1回	1回	1回	1回	<ul style="list-style-type: none"> 異業種交流会開催 新春名刺交換会において、事業者には行政、関係機関、市内大学及び高校からの参加を加えた交流会を開催した。（268名参加） フォーラムの開催件数 未開催 企業見学参加者数 ①8/25～8/26 商工会まつりにてイベント参加型インターンシップ実施 県立大生9名、盛大生1名参加 ②1/17 中小企業の人材採用セミナー開催 「向上心あふれる人財と意欲ある会社 中途採用支援と後継者不足からの脱却」 ③10/26 みらいとしょかん in 滝沢南中学校 ④9/28 盛岡商業高校社会人交流体験 ⑤国立岩手山青少年交流の家職場体験受け入れ事業所募集協力 特産品開発品目（3件試作品） (漢方牛缶詰、紅はるか干しイモ、干し芋カップケーキ) 総オタ計画イベントの開催 民間主導へシフトし 11/10 開催 ※R1年度からは「滝祭」へと項目変更して目標値としたい。 	B
項目	現状	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度																																												
異業種交流会開催	0件	1件	2件	2件	2件	2件																																												
フォーラムの開催件数	0件	1件	2件	2件	2件	2件																																												
企業見学参加者数	0名	30名	50名	50名	50名	50名																																												
特産品開発品目（試作品）	0件	3件	3件	3件	4件	4件																																												
総オタ計画イベントの開催	0回	1回	1回	1回	1回	1回																																												
8. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること (事業内容) (1) 岩手県工業技術センターと連携したデザイン策定に関するノウハウの交換 地域資源を活用した商品開発ではデザインなどパッケージの良否が売上げの重要な鍵となる。そこで地域の小規模事業者の地域資源を活用した商品パッケージを多数支援してい							(1)岩手県南技術研究センターと連携し地元企業の新商品を開発。(百花のプリザーブドフラワー完成) ・岩手県発明協会と連携して知的財産権に関する支援 (12/6(株)パティスリー津志田、	A																																										

<p>る岩手県工業技術センターなどとの間で、最近の地域資源を活用したお土産品に係るデザイン校正や商品コンセプトとの関係などについて意見交換を行うとともに、当会でもエキスパートバンク事業などの専門家を活用して取り組んできた商品開発支援について情報を提供するなど、小規模事業者の新商品開発に関するノウハウの交換を行い、個別の事業計画等の相談対応に反映させていく。</p> <p>(2) 滝沢市商工振興実務者連絡会</p> <p>本商工会と滝沢市役所は市の商工業の振興を図るため、「滝沢市商工振興実務者連絡会」を平成 17 年から設置している。会議は、商工会職員と市役所経済産業部商工観光課、企業振興課、農林課職員とで 2 回の定期的な開催することとしている。その後、東日本大震災で途絶えていたが、平成 26 年度に再開し 2 度開催されており、平成 27 年度以降も、会議の中で支援ノウハウ等の情報交換を図る。</p> <p>(3) 三大学との連携</p> <p>市内にある三大学と連携した商工会事業はなかったが、小規模事業者から地元企業を知ってほしいとの考えからインターンシップの実施についての要望があり、27 年度から事業実施の予定となっている。また、大学の持つ専門スキル、看護・社会福祉・ソフトウェア・総合政策等の共同研究による新事業展開の活性化を図る。</p>	<p>12/17 松森木工所の経営革新認定企業 2 件実施)</p> <p>(2)滝沢市商工振興実務者連絡会開催：2 回</p> <p>(3)個社支援として、(株)パティスリー津志田、東北巧芸舎、(有)関添食品工業の需要動向を県立大学と連携研究。(10 月～1 月)</p>
--	---

経営発達支援事業の目標	実施した事業	委員会 評価
<p>9. 経営指導員等の資質向上等に関すること (事業内容) (1) 経営指導員等研修事業 全職員が、岩手県商工会連合会が実施する職種別（事務局長・経営指導員・経営支援スタッフ）研修会や専門スタッフ育成となる企業分析・中小企業マーケティング・経営改善計画策定・新事業等経営計画策定研修会等にそれぞれ目的を持って参加する。そこで得た財務分析や市場分析等スキルにより、企業の経営計画策定等支援に有効に活かす。特に企業独自の独自性や差別化などによる新事業展開などの支援には、知識だけではなく傾聴力やコミュニケーション力、提案力も求められることから研修の場面場面で、自らその機会を捉え積極的に能力の向上に取り組む。</p> <p>(2) 実践による全職員の資質向上 今後、経営計画策定支援が重要な業務となることから、現在経営指導員が担当している「小規模事業者持続化補助金」の経営計画作成等について、全ての職員が関わるとともに、企業に対する専門家派遣支援の際は、職員が帯同しそのスキルを学ぶこととする。また、2名いるプロジェクトマネージャーを中軸として経営革新計画策定について、OJT等により職員個々の能力を高め、全職員が伴走型の支援ができるように組織機能強化を図る。</p> <p>(3) 岩手県中小企業家同友会への参加 中小企業家同友会は、経営者一人一人の悩み・問題意識を出発点に活動しており、経営体験を本音で語り・学び合い、経営者の学びの場・成長の場となっている。商工会職員は、経営者である会員と接する機会があるものの、経営者の本音に向き合う機会がなかなかない。同友会に参加し、経営者の生の声を聴くことにより、商工会職員が経営について・経営支援の方策等について学び、会員に寄りそった事業を展開できるように資質向上を図る。</p> <p>(4) 支援ノウハウの共有と蓄積 研修受講結果については、月2回行う定例の職員会議で報告の時間を設けることによって他職員とも共有する。また、支援現場で活かすために経営指導員と経営支援スタッフが、ペアで3チームを構成し、担当地域を単独あるいはチームで巡回する。その支援経過や成果は、相談指導業務日報に落とし込み、チーム内で検証したうえで全職員に回覧し、さらに定例の職員会議で意見交換することで実践成果の共有によるスキル修得へ結び付ける。相談指導業務日報は、基幹システムの経営指導カルテに反映させ、事例として蓄積される他、この体制により情報共有とOJTを交えた実践によるスキルアップの体系を構築する。</p>	<p>(1)経営指導員等研修参加：述べ21人 （県連主催14、全国連主催1、事業団主催2、機構主催3、東北経産局主催1）</p> <p>(2)実践による全職員の資質向上 持続化補助金経営計画作成支援：職員5人 経営革新計画作成支援：職員2人</p> <p>(3)岩手県中小企業家同友会への参加 未参加</p> <p>(4)支援ノウハウの共有と蓄積 職員会議の開催とOJT：24回</p>	<p>B</p>

経営発達支援事業の目標	実施した事業	委員会 評価
<p>10. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること</p> <p>事業の評価については、毎年度当初に岩手県商工会連合会に報告する事業評価の時期に合わせて開催する他、年度の中間の年2回、滝沢市、外部有識者、商工会連合会、滝沢市商工会役員で構成する「滝沢市商工会事業評価会議」を設置し、会員の動向調査、経済動向、目標となっている数値が達成度合を検証し、事業の評価を行う。各年度に実施された事業は、「商工会事業評価会議」で目標値の確認をし、その内容については、正副会長会議で報告し、事業の継続、改廃について検討したうえで、新年度事業計画として理事会、通常総会で審議する。</p> <p>外部有識者を交えて実施した事業評価会議の結果</p> <p>1. 平成30年度事業全体</p> <p>事業評価会議の評価は、目標を達成することができた（100%以上）「A」が、5項目。目標を概ね達成することができた（80%～99%）「B」が、4項目。目標を半分程度しか達成することができなかった（30%～79%）「C」が、1項目という結果であった。</p> <p>全体としては、「概ね達成できた」以上が9割で昨年度の5割から大幅に改善された結果となった。なお、「ちゃぐ～るサイト」のアクセス数が目標未達成で推移していることが課題として挙げられた。その他、異業種交流会やフォーラムといった他団体、他機関との連携が必要となる事業実施の強化取組みと大学との連携について岩手県立大学以外とも連携を図るよう求められた結果であった。</p> <p>2. 令和元年度に向けた改善点</p> <p>(1) 「ちゃぐ～るサイト」については、サイト本体のPRを強化していくこととした。</p> <p>(2) 異業種交流会及び大学との連携については、滝沢市が行っている異業種交流会や市内3大学との連携事業に共同して取り組むこととした。</p>	<p>・滝沢市商工会事業評価会議の開催：2回</p>	<p>B</p>